

2014年10月10日

「家族と教育」をテーマとした特別講演 「第5回東洋大学文化講演会 in 姫路」開催

日時：11月8日（土）14：00～16：30（開場：13：30）
会場：東洋大学附属姫路中学校・高等学校「50周年記念ホール」

東洋大学（東京都文京区白山／学長・竹村牧男）は、11月8日（土）に東洋大学附属姫路中学校・高等学校（兵庫県姫路市）「50周年記念ホール」にて「第5回 東洋大学文化講演会 in 姫路」を下記の通り開催いたします。

東洋大学文化講演会は、著名な研究者・文化人、本学の教職員を講演者とした講演会を附属中学校・高等学校が設置されている各都市で開催することによって、本学の持つ知を幅広く地域の皆様へ公開し、生涯学習の機会を提供する目的で、毎年開催しており、今年で5回目を迎えます。

本年度は、講演者に、兵庫県にゆかりのある小説家の玉岡かおる氏と、本学社会学部教授西野理子を迎え、「家族と教育」という共通のテーマで講演を予定しております。

【「第5回 東洋大学文化講演会 in 姫路」概要】

テーマ：「家族と教育」

日時：2014年11月8日（土）14時00分～16時30分（開場13時30分）

会場：東洋大学附属姫路中学校・高等学校「50周年記念ホール」

（〒671-2201兵庫県姫路市書写1699番地）

主催：東洋大学

共催：東洋大学附属姫路中学校・高等学校

後援：姫路市・姫路市教育委員会・姫路商工会議所

入場料：無料（事前申込制／先着350名限定）

申込方法：WEBサイトまたはFAX <http://www.toyo.ac.jp/site/himeji/54944.html>

申込締切：2014年10月31日（金）

<プログラム>

14時00分 あいさつ 東洋大学学長 竹村牧男

姫路市 市長代理 市長公室長

14時10分 講演1 小説家 玉岡 かおる氏 「日本人・こころの教育まがり角」

15時10分 休憩

15時20分 講演2 東洋大学 社会学部教授 西野 理子 「あたり前の家族、家族のあたり前」

16時20分 あいさつ 東洋大学附属姫路中学校・高等学校 校長 橋本俊雄

<一般からのお問い合わせ>

東洋大学附属姫路中学校・高等学校

TEL 079-266-2626 / FAX 079-266-4590

受付時間：平日9時00分～16時30分（土日祝を除く）

【「第5回 東洋大学文化講演会 in 姫路」講演内容】

○講演Ⅰ 14:10～

「日本人・こころの教育まがり角」

講師：玉岡 かおる（小説家）

講演概要：

明治になり近代化をめざした日本人の急成長は、欧米人が目を見張るものでした。急激な社会の変化にも対応できるフレキシブルな素地が、日本国民の中にじっくり醸成されていたからです。それは、「眠っていた」と表現される江戸時代260年間の国民教育が花開いたからにほかなりません。ところが明治以降、欧米流の教育によって140年間ばく進してきた今の日本では、さまざまな問題が噴出し始めています。教育がまがり角に来ていることは、まぎれもない事実です。ではこの先、大切な子供たちにどんな未来を贈ればいいのか。歴史小説家の玉岡かおるとともに一緒に考えてみましょう。未来へのヒントは、いつも歴史の中にあります。

◇講師プロフィール

玉岡 かおる

兵庫県三木市生まれ。神戸女学院大学卒業。加古川市在住。

1989年神戸文学賞受賞の『夢喰い魚のブルー・グッドバイ』

（新潮社）で文壇デビュー。兵庫県教育委員、2013年には

日本水大賞、農林水産大臣受賞。2000年加古川市特別文化賞受賞。

2006年兵庫県文化賞受賞。2014年6月加古川市功労者表彰。



○講演Ⅱ 15:20～

「当たり前前の家族、家族のあたり前」

講師：西野 理子（社会学部教授）

講演概要：

家族は、どんな人間社会にも存在し、ほぼ誰にとってもごく身近なものでしょう。子どもは家族のもとで生まれ育ち、やがて結婚して自らの家族をつくっていきます。それぞれの家族の中では特別に親密な関係性が築かれ、各種の世論調査からみても、日本人の多くが「家族はかけがえのない大切なもの」と思っています。一方で、「家族の危機」や数多くの家族問題、非婚化などが指摘されています。あたり前としてきた家族のどこが変わってきたのか、また、家族としてあたり前にしてきたことが、これからもあたり前であり続けるのかの一端をご一緒に考えてみましょう。

◇講師プロフィール

西野 理子

東洋大学社会学部教授。専門分野・研究テーマは、家族社会学・

ライフコース論。岐阜県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。

日本社会学会、日本家族社会学会、比較家族史学会等の学会に所属。

